

プロジェクト名：北海道増毛町地先における鉄鋼スラグを用いた藻場造成（日本製鉄株式会社、増毛漁業協同組合）

◆プロジェクト概要

- ・日本製鉄と増毛漁組は共同で日本製鉄社製の鉄鋼スラグ施肥材（ヒバリ®ユニット）を2014年から北海道増毛町別荘の海岸線270mに45t埋設し、藻場造成に取り組みました。
- ・潜水調査および画像解析を行った結果、取組当初から比較して、海藻藻場（主に紅藻や小型褐藻）が、2015年の0.9 haから2024年には2.4 haに拡大し、CO₂吸収量は1.1 t-CO₂と認証されました。

◆プロジェクトの特徴・PRポイント

- ・日本製鉄と増毛漁組は協働体制を構築し、藻場の維持・管理、藻場調査を実施してきました。
- ・今後もウニをはじめとした水産生物の漁獲高の向上とブルーカーボンの活性化に向け藻場造成を継続していきます。
- ・また、本活動の認知向上により、全国で藻場造成事例をさらに増やしていきます。

炭酸化製鋼スラグ
(鉄源)



腐植物質
(腐植酸)



図：鉄鋼スラグ施肥材

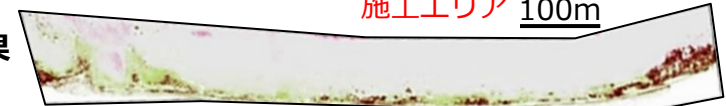


図：施工の様子（2014年10月、別荘）

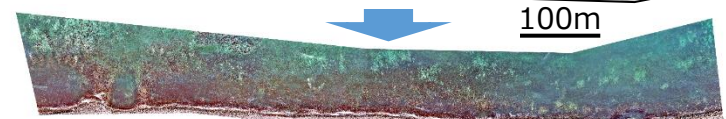
2015年7月
(ベースライン)



画像解析結果



2024年6月



画像解析結果



凡例； ■ コンブ、■ 紅藻・他1、■ 紅藻・他2、■ 紅藻3、
■ 褐藻、■ 緑藻、■ 褐藻・紅藻1、■ 褐藻・紅藻2、
■ 褐藻・紅藻3、□ 岸、■ 砂・転石

図：別荘における藻場面積の解析結果
(色付きの範囲が9年間で拡大している様子が分かります)